

# ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

\*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

## 第38回 福祉を考える集会のゆくえ… 再度の中止を受けて



福祉を考える会役員会の様子



左：福祉を考える集会冊子  
右：松川町子育て情報誌「のびのび」

### 福祉を考える会会長

原 節子

昨年に続き、例年どおりの開催は難しくなった福祉を考える集会。

「会として伝えること、つながること、続けること」が大切と前向きな意見をいただき、38回用に作られた資料の中から基調説明や事例発表を映像で伝えようとチャンネル・ユーのご協力のもと動き出しました。

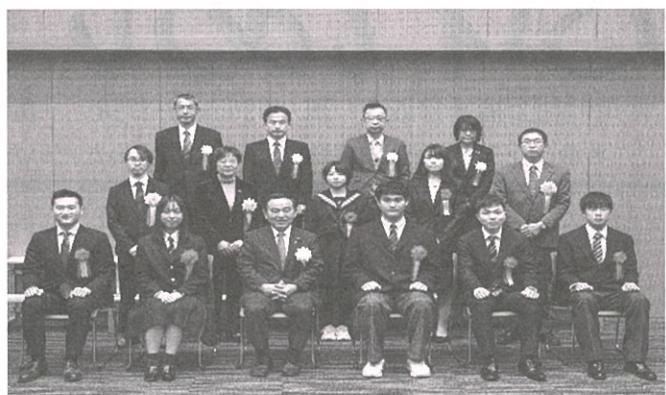
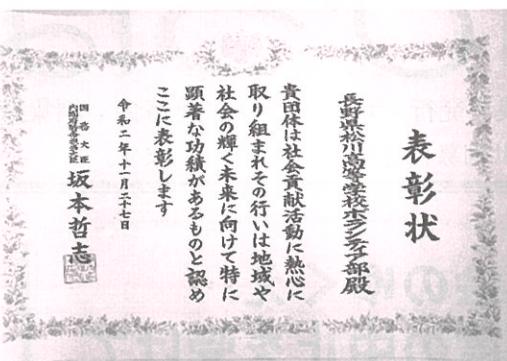
2月5日に行われた役員会では児童館へ出かけての感想や、子育て情報誌「のびのび」の経緯、その編集に携わった子育て中のお母さんの声などを読み合いまして、時間を計ったり、イメージをふくらませたりしました。

また38回用の資料の有効的な活用についても話し合い、社協はもちろん役場や支所、子育て支援センター、子ども食堂、"ハグ"などに置いてもらい、自由にお持ちいただける様にしました。ぜひ手に取ってご覧下さい。



# 内閣府主催 令和2年度「未来をつくる若者オブ・ザ・イヤー」で 「内閣特命大臣表彰」を受賞しました

▶令和2年度「未来をつくる若者  
オブ・ザ・イヤー」内閣特命  
大臣表彰



▲坂本哲志内閣府特命担当大臣(中央)  
宮澤小太郎(前列右)

この度、ボランティア部が長年地道に取り組んできた様々な活動が認められ、長野県からの推せんで内閣府主催、令和2年度「未来をつくる若者オブ・ザ・イヤー」で「内閣特命大臣表彰」を頂いたました。受賞理由の1つ目は東日本大震災後から地域と連携しながら、りんごや被災地由来のペチュニアの花のお里帰りなどの支援交流活動、2つ目は、子ども食堂Hugさんへのボランティアを通した、地域の子どもたちへの活動、3つ目は、「満蒙開拓平和記念館」での高校生展示ガイドや語り部の文字おこし作業。その他、地域から国際社会まで地域と広く繋がりながら継続した地道な活動を続けていることです。

受賞は、社協様をはじめ松川町民の皆様方、多くの地域の皆様方の温かなご支援ご協力の賜物と感謝いたしております。これからも「人様のお役に立つ活動」を真摯に続けていきたいと思います。どうぞ、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

改めて紙面をお借りして活動に関わってくださったすべての皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

松川高等学校ボランティア部



課となりました。

私は数年前から“ナンプレ”という81個のマスに1~9の数字を入れ込むパズルにハマっています。ナンプレを始めたきっかけは覚えていませんが、今では好きすぎてナンプレの本を片時も手放す事ができません。今は中級コースをしていますが、本を開き、数字の事を考える事に集中しているとイライラしていた事も、いやな事も忘れられて、脳トレと言つています。

言うよりも、私のストレス解消にな

ホーリー元気?



やめられません

北原紀子